

貨物自動車運送業における 人材確保および 人材活用の試みと課題

経済・ビジネス研究科 現代ビジネス専攻
マネジメント分野 博士前期課程
2025年3月修了

杉山 綾菜

主査 安 熙卓 副査 魏 鍾振 木下 耕二

研究の背景

近年の日本では、少子高齢化の進展に伴った就業人口の減少で人材不足があらゆる産業の発展に大きな影響を与えている。こうした状況のなか、多くの企業は人材確保に力を注いでいるが、人材を採用してもすぐに離職する離職率の上昇も産業の発展において大きな課題となっている。従業員の退職や採用難、人件費高騰などが起因する「人手不足倒産企業（2023年度）」は、物流業が46件と過去最多となり、物流企業が人手不足で倒産に追い込まれていることがわかる。

研究の目的

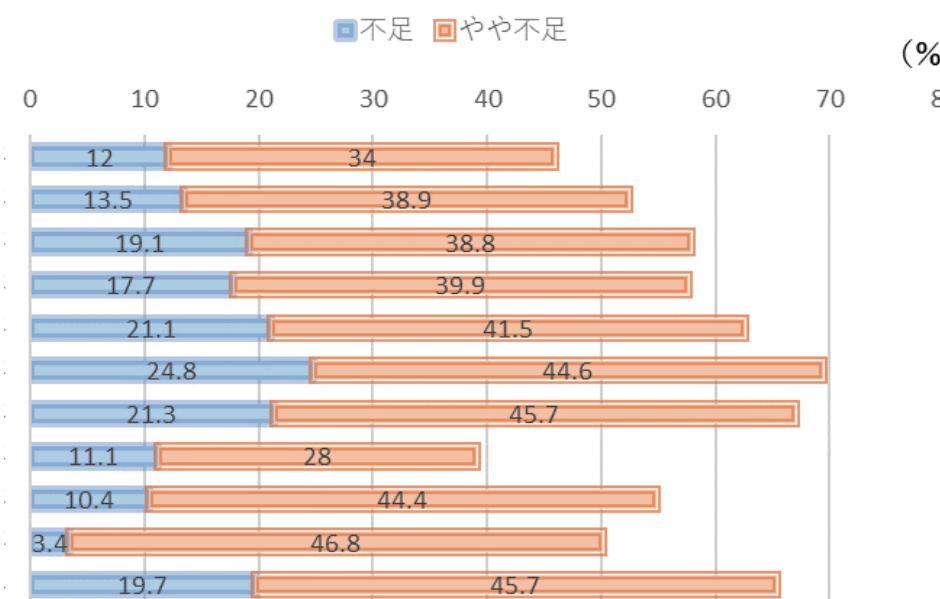
社会インフラとして欠かせない重要な役割を果たしている物流業界は、人材不足に悩んでおり、深刻な問題となっている。物流業界の人材不足問題のなかでも、特にトラックドライバーが不足しているが、その要因としては「2024年問題」などが挙げられる。本研究では、貨物自動車運送業が直面している課題を解決するために各種統計資料のデータをもとに貨物自動車運送業の人材不足の現状や原因を分析し、人材不足の改善策を試みた。

研究概要

研究の背景・目的

2. 物流の需要や貨物自動車運送業の貨物量、構造
3. 貨物自動車運送業の人材不足の現状
4. 貨物自動車運送業の人材不足の背景と原因、影響
5. 貨物自動車運送業の人材不足の改善策
6. 研究のまとめ

トラックドライバー不足と感じる企業の推移



出典：全日本トラック協会「トラック運送業界の景況感」
(各年の7月～9月の数値)を参考に作成。

全産業の平均就業時間の推移

全産業	就業時間 (時間)	
	平均月間	平均年間
2018	158.4	1900.9
2019	155.7	1868.7
2020	150.9	1810.6
2021	151.5	1817.4
2022	151.5	1818.4
2023	151.7	1820.3

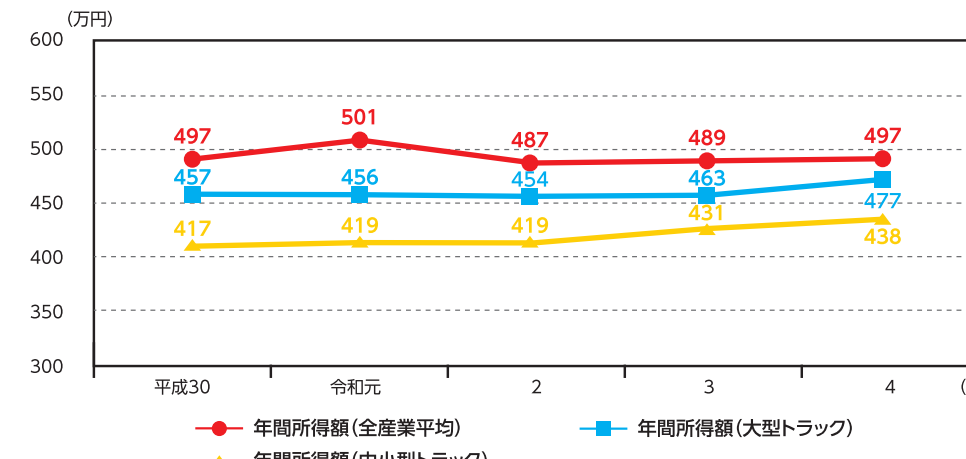
出典：統計局「労働力調査」を参考に作成。

貨物自動車運送業の平均就業時間の推移

貨物自動車運送業	平均月間就業時間 (時間)		平均年間就業時間 (時間)	
	全職業 男女計	運転従事者 男女計	全職業 男女計	運転従事者 男女計
2018	194.4	218.7	2332.9	2623.8
2019	188.3	213.5	2259.4	2562.3
2020	183.9	207.4	2206.8	2489.4
2021	182.9	208.9	2194.2	2506.5
2022	183.0	208.9	2196.0	2506.5
2023	183.0	208.1	2196.1	2497.3

出典：統計局「労働力調査」を参考に作成。

全産業と貨物自動車運送業の年間所得額の推移



資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より

出典：全日本トラック協会「日本のトラック輸送産業 現状と課題2023」16頁。

成果・まとめ

貨物自動車運送業の人材不足の背景として、物流業界による離職率や物流業界に対するイメージや「2024年問題」が主な背景であり、これらの原因としては、貨物自動車運送業の労働時間や貨物自動車運送業の賃金、貨物自動車運送業の現状による影響などが貨物自動車運送業の人材確保および定着を妨げになっていることが明らかになった。これらの課題を改善するために、本研究では採用の面から人材を確保する改善策と物流効率を上げる改善策の2つの観点からの改善策を試みた。まず、採用の面から人材を確保する改善策では、賃金や労働時間等労働条件の改善、自社独自の採用ピッチ資料を用いた採用戦略を提示した。また、物流効率を上げる改善策では、輸送網の集約やモーダルシフトといった物流の効率化を改善策として提示した。

しかしながら、より詳細な実態を把握するためには物流業界および貨物自動車運送業の従業員を対象とした実証的な調査や分析を行うことで、新たな課題が見つかる可能性があるため、今後の課題解決につなげる必要がある。



指導教員コメント

本研究は、多様な文献・統計資料をもとに貨物自動車運送業が抱えている人手不足、とりわけトラックドライバー不足問題に着目し、現状を分析・考察し、改善策を試みた。物流業界における採用関連の資料が乏しい中、意欲的に取り組んだ点は評価できる。今後、物流業界の人手不足の課題解決にヒントとなることが期待できる。

安 熙卓